



CHAPTER 11

ファイバ チャンネル show コマンド

この章では、Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチで使用可能な Cisco NX-OS ファイバ チャンネル、仮想ファイバ チャンネル、および Fibre Channel over Ethernet (FCoE) の **show** コマンドについて説明します。

show cfs

Cisco Fabric Service (CFS) の情報を表示するには、**show cfs** コマンドを使用します。

```
show cfs {application [name app-name] | lock [name app-name [vsan vsan-id]] | merge
status [name app-name [vsan vsan-id]] | peers [name app-name [vsan vsan-id]] |
regions | status}
```

構文の説明

application	ローカルで登録されたアプリケーションを表示します。
name app-name	(任意) ローカルのアプリケーション情報を名前によって指定します。名前は、最大 64 文字まで指定できます。
lock	アプリケーションの論理ロック、または物理ロックの状態を表示します。
vsan vsan-id	(任意) VSAN ID を指定します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
merge status	CFS のマージ情報を表示します。
peers	CFS の論理ピア、または物理ピアを表示します。
regions	CFS 領域を表示します。
status	CFS 配信がイネーブル、またはディセーブルのいずれの状態にあるかを表示します。デフォルト設定は enabled です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

show cfs application コマンドは、CFS に現在登録されているアプリケーションだけを表示します。CFS を使用するコンディショナル サービスは、これらのサービスが稼動していない限り、出力には示されません。

例

次に、すべてのアプリケーションについて CFS の物理ピア情報を表示する例を示します。

```
switch# show cfs peers
```

次に、スイッチ上のすべてのアプリケーションに対する CFS の情報を表示する例を示します。

```
switch# show cfs application
```

次に、CFS 配信のステータスを表示する例を示します。

```
switch# show cfs status
```

関連コマンド

コマンド	説明
cfs	Cisco Fabric Service (CFS) 情報を設定します。

show debug npv

N Port Virtualization (NPV; N ポート仮想化) デバッグ コマンドを表示するには、スイッチに設定された **show debug npv** コマンドを使用します。

show debug npv

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

show debug npv コマンドは、スイッチが NPV モードの場合に限り使用できます。

例

次に、スイッチで使用できるすべての NPV デバッグ コマンドをする例を示します。

```
switch# show debug npv
```

関連コマンド

コマンド	説明
debug npv	NPV 設定のデバッグをイネーブルにします。

show device-alias

デバイス名の情報を表示するには、**show device-alias** コマンドを使用します。

```
show device-alias {database | merge status | name device-name [pending] | pending |
pending-diff | pwwn pwwn-id [pending] | session status | statistics | status}
```

構文の説明

database	デバイス名データベース全体を表示します。
merge status	デバイスのマージステータスを表示します。
name device-name	特定のデバイス名に対するデバイス名データベース情報を表示します。
pending	(任意) 保留中のデバイス名データベース情報を表示します。
pending-diff	デバイス名データベース情報で保留中の違いを表示します。
pwwn pwwn-id	特定の pWWN に対するデバイス名データベース情報を表示します。形式は、 <i>hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh</i> で、 <i>h</i> は 16 進数です。
session status	デバイス名セッションステータスを表示します。
statistics	デバイス名データベースの統計情報を表示します。
status	デバイス名データベースのステータスを表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

わかりにくいデバイス名を使用する代わりに、デバイス名の FC エイリアス（ファイバチャネルエイリアス）を使用するには、FC エイリアスごとにメンバを 1 つだけ追加します。

例

次に、デバイスエイリアスデータベースの内容を表示する例を示します。

```
switch# show device-alias database
```

次に、グローバルな FC エイリアスと Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) 従属 FC エイリアスをすべて表示する例を示します。

```
switch# show device-alias name efg
```

次にグローバルな FC エイリアスと VSAN 従属 FC エイリアスをすべて表示する例を示します。

```
switch# show device-alias statistics
```

関連コマンド

コマンド	説明
device-alias name	デバイスエイリアス名を設定します。
device-alias database	デバイスエイリアス情報を設定します。
device-alias distribute	デバイスエイリアスの CFS 配信をイネーブルにします。

show fabric-binding

設定されているファブリック バインディング情報を表示するには、**show fabric-binding** コマンドを使用します。

```
show fabric-binding {database [active] [vsan vsan-id] | efmd statistics [vsan vsan-id] |
statistics [vsan vsan-id] | status [vsan vsan-id] | violations [last number]}
```

構文の説明

database	設定されているデータベース情報を表示します。
active	(任意) アクティブ データベースのコンフィギュレーション情報を表示します。
vsan <i>vsan-id</i>	(任意) FICON に対応した Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) ID を指定します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
efmd statistics	Exchange Fabric Membership Data (EFMD) の統計情報を表示します。
statistics	ファブリック バインディングの統計情報を表示します。
status	ファブリック バインディングのステータスを表示します。
violations	ファブリック バインディング設定の違反を表示します。
last number	(任意) 最近の違反を指定します。範囲は 1 ~ 100 です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、設定されているファブリック バインディング データベース情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding database
```

次に、アクティブ ファブリック バインディングの情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding database active
```

次に、VSAN 固有のファブリック バインディング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding database active vsan 61
```

次に、VSAN 固有の設定済みファブリック バインディング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding database vsan 4
```

次に、ファブリック バインディングの統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding statistics
```

■ show fabric-binding

次に、各 VSAN に対するファブリック バインディングのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding status
```

次に、EFMD の統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding efmd statistics
```

次に、指定された VSAN に対する EFMD の統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding efmd statistics vsan 4
```

次に、ファブリック バインディングの違反を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding violations
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabric-binding	VSAN にファブリック バインディングを設定します。

show fc2

FC2 情報を表示するには、**show fc2** コマンドを使用します。

```
show fc2 {bind | classf | exchange | exchresp | flogi | nport | plogi | plogi_pwwn | port
[brief] | socket | sockexch | socknotify | socknport | vsan}
```

構文の説明

bind	FC2 ソケット バインディングを表示します。
classf	FC2 classf セッションを表示します。
exchange	FC2 アクティブ交換を表示します。
exchresp	FC2 アクティブ応答交換を表示します。
flogi	FC2 FLOGI テーブルを表示します。
nport	FC2 ローカル N ポートを表示します。
plogi	FC2 PLOGI セッションを表示します。
plogi_pwwn	FC2 PLOGI pWWN エントリを表示します。
port	FC2 物理ポート テーブルを表示します。
brief	(任意) FC2 物理ポート テーブルを要約形式で表示します。
socket	FC2 アクティブ ソケットを表示します。
sockexch	各ソケットの FC2 アクティブ交換を表示します。
socknotify	各ソケットの FC2 ローカル N ポート PLOGI/LOGO 通知を表示します。
socknport	ソケットごとの FC2 ローカル N ポートを表示します。
vsan	FC2 VSAN テーブルを表示します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、FC2 アクティブ ソケット情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc2 socket
```

次に、FC2 ソケット バインディング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc2 bind
```

次に、FC2 ローカル N ポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc2 nport
```

次に、FC2 PLOGI セッション情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc2 plogi
```

次に、FC2 物理ポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc2 port
```

次に、各ソケットの FC2 ローカル N ポート PLOGI 通知を表示する例を示します。

```
switch# show fc2 socknotify
```

次に、各ソケットの FC2 ローカル N ポートを表示する例を示します。

```
switch# show fc2 socknport
```

次に、FC2 VSAN テーブルを表示する例を示します。

```
switch# show fc2 vsan
```

show fc-port-security

設定されているポートセキュリティ機能に関する情報を表示するには、**show port-security** コマンドを使用します。

```
show fc-port-security {database [active [vsan vsan-id]] | fwwn fwwn-id vsan vsan-id |
interface {fc slot/port | san-port-channel port} vsan vsan-id | vsan vsan-id | pending
[vsan vsan-id] | pending-diff [vsan vsan-id] | session status [vsan vsan-id] | statistics
[vsan vsan-id] | status [vsan vsan-id] | violations [last count | vsan vsan-id]}
```

構文の説明

database	データベース関連のポートセキュリティ情報を表示します。
active	(任意) アクティブ状態のデータベース情報を表示します。
vsan vsan-id	(任意) 指定されたデータベースの情報を表示します。
fwwn fwwn-id	指定されたファブリック WWN (fWWN) の情報を表示します。
interface	インターフェイスの情報を表示します。
fc slot/port	指定されたファイバチャネルインターフェイスの情報を表示します。
san-port-channel port	指定された SAN ポートチャネルインターフェイスの情報を表示します。 範囲は 1 ~ 128 です。
pending	サーバアドレスの保留中の設定を表示します。
pending-diff	サーバアドレスの保留中の設定とアクティブ状態の設定における違いを表示します。
session status	VSAN 単位でポートセキュリティセッションのステータスを表示します。
statistics	ポートセキュリティの統計情報を表示します。
status	VSAN 単位でポートセキュリティのステータスを表示します。
violations	ポートセキュリティデータベースでの違反を表示します。
last count	(任意) データベースの最終行番号を表示します。範囲は 1 ~ 100 です。

コマンドデフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。
4.2(1)N1(1)	show fc-port-security コマンドが追加されました。 (注) Cisco Nexus 5000 シリーズスイッチで、4.2(1)N1(1) よりも前の Cisco NX-OS リリースを実行している場合、このコマンドは show port-security コマンドと呼ばれていました。

使用上のガイドライン

各ポートのアクセス情報は個別に表示できます。fabric World Wide Name (fWWN) または interface オプションを指定すると、その時点でアクティブになっているデータベース中で、指定された fWWN またはインターフェイスとペアになっているデバイスがすべて表示されます。

last number オプションを指定して **show fc-port-security** コマンドを入力すると、最初に現れる指定数分のエントリだけが表示されます。

例

次に、ポートセキュリティデータベースの内容を表示する例を示します。

```
switch# show fc-port-security database
```

次に、VSAN 1 のアクティブポートセキュリティデータベースの出力を表示する例を示します。

```
switch# show fc-port-security database vsan 1
```

次に、アクティブデータベースを表示する例を示します。

```
switch# show fc-port-security database active
```

次に、VSAN 1 内のワイルドカード fWWN ポートセキュリティを表示する例を示します。

```
switch# show fc-port-security database fwn 20:85:00:44:22:00:4a:9e vsan 1
```

次に、VSAN 1 内の設定済み fWWN ポートセキュリティを表示する例を示します。

```
switch# show fc-port-security database fwn 20:01:00:05:30:00:95:de vsan 1
```

次に、VSAN 2 内のインターフェイスポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc-port-security database interface fc 2/1 vsan 2
```

次に、ポートセキュリティ統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc-port-security statistics
```

次に、アクティブデータベースと自動学習コンフィギュレーションのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show fc-port-security status
```

次に、直近 100 件の違反を表示する例を示します。

```
switch# show fc-port-security violations
```

関連コマンド

コマンド	説明
fc-port-security	ポートセキュリティパラメータを設定します。

show fcalias

ファイバチャネルエイリアス (FC エイリアス) のメンバ名情報を表示するには、**show fcalias** コマンドを使用します。

show fcalias [**name** *fcalias-name*] [**pending**] [**vsan** *vsan-id*]

構文の説明

name <i>fcalias-name</i>	(任意) 特定の名前の FC エイリアス情報を表示します。最大 64 文字の長さまで指定可能です。
pending	(任意) 保留中の FC エイリアス情報を表示します。
vsan <i>vsan-id</i>	(任意) VSAN の FC エイリアス情報を表示します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。

コマンドデフォルト

グローバル FC エイリアス、および VSAN 従属 FC エイリアスをすべて記載したリストを表示します。

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

わかりにくいデバイス名を使用する代わりに、デバイス名の FC エイリアス (ファイバチャネルエイリアス) を使用するには、FC エイリアスごとにメンバを 1 つだけ追加します。

例

次に、FC エイリアス コンフィギュレーション情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcalias vsan 1
```

関連コマンド

コマンド	説明
fcalias name	FC エイリアス名を設定します。

show fcdomain

ファイバチャネルドメイン (fcdomain) 情報を表示するには、**show fcdomain** コマンドを使用します。

```
show fcdomain [address-allocation [cache] | allowed | domain-list | fcid persistent
[unused] | pending [vsan vsan-id] | pending-diff [vsan vsan-id] | session-status [vsan
vsan-id] | statistics [interface {fc slot/port [vsan vsan-id] } | san-port-channel port
[vsan vsan-id]] | status | vsan vsan-id]
```

構文の説明

address-allocation	(任意) FC ID の割り当てに関する統計情報を表示します。
cache	(任意) 主要スイッチのファブリックを出て再入するデバイス (ディスクまたはホスト) に対して、FC ID を再割り当てします。キャッシュ内で、Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) は当該のデバイスを含む VSAN を表し、WWN は FC ID を所有していたデバイスを表します。マスクは FC ID に対応する 1 つのエリアまたはエリア全体を表します。
allowed	(任意) 許可されたドメイン ID のリストを表示します。
domain-list	(任意) 主要スイッチで割り当てられたドメイン ID のリストを表示します。
fcid persistent	(任意) 固定 FC ID (リポート後も保持される) を表示します。
unused	(任意) 未使用の永続的 FCID (リポート後も保持される) を表示します。
pending	(任意) 保留中の設定を表示します。
vsan vsan-id	(任意) VSAN ID を指定します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
pending-diff	(任意) 実行中の設定と保留中の設定の間における違いを表示します。
session-status	(任意) FC ドメインの最後の動作を表示します。
statistics	(任意) FC ドメインの統計情報を表示します。
interface	(任意) インターフェイスを指定します。
fc slot/port	(任意) ファイバチャネルインターフェイスを指定します。
san-port-channel port	(任意) SAN ポートチャネルインターフェイスを指定します。範囲は 1 ~ 128 です。
status	(任意) FC ドメインのすべての VSAN 独立型情報を表示します。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン 引数を指定せずに **show fcdomain** を入力すると、すべての VSAN が表示されます。VSAN をアクティブにする必要があります。アクティブでないとエラーになります。

例

次に、VSAN 1 の FC ドメイン情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain vsan 1
```

次に、VSAN 76 の fcdomain ドメイン リスト情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain domain-list vsan 76
```

```
Number of domains: 3
Domain ID          WWN
-----
0xc8(200)         20:01:00:05:30:00:47:df [Principal]
0x63(99)          20:01:00:0d:ec:08:60:c1 [Local]
0x61(97)          50:00:53:0f:ff:f0:10:06 [Virtual (IVR)]
```

表 11-1 に、**show fcdomain domain-list** コマンドの出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 11-1 show fcdomain のフィールドの説明

フィールド	説明
Domain ID	WWN に対応するドメイン ID の一覧です。
WWN	対応するドメイン ID を要求するスイッチ（物理スイッチまたは仮想スイッチ）の WWN を示します。
Principal	VSAN で主要スイッチの WWN、およびドメイン ID を表示する行を示します。
Local	ローカル スイッチ（ show fcdomain domain-list コマンドを入力したスイッチ）の WWN、およびドメイン ID を表示する行を示します。
Virtual (IVR)	Inter-VSAN Routing (IVR; VSAN 間ルーティング) マネージャがドメイン ID の取得時に使用する仮想スイッチの WWN を、どの表示行にリストするかを示します。

次に、許可されたドメイン ID リストを表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain allowed vsan 1
```

次に、許可されたドメイン ID リストの CFS 配信のステータスを表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain status
```

次に、保留中の設定に関する変更を表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain pending vsan 10
```

次に、保留中の設定と現在の設定における違いを表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain pending-diff vsan 10
```

次に、配信セッションのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain session-status vsan 1
```

関連コマンド

コマンド	説明
fcdomain	ファイバチャネル ドメイン機能を設定します。

show fcdroplateny

設定されているファイバチャネル遅延パラメータを表示するには、**show fcdroplateny** コマンドを使用します。

show fcdroplateny [network | switch]

構文の説明

network	(任意) ネットワーク遅延をミリ秒単位で表示します。
switch	(任意) スイッチ遅延をミリ秒単位で表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、設定されているファイバチャネル遅延パラメータを表示する例を示します。

```
switch# show fcdroplateny
```

関連コマンド

コマンド	説明
fcdroplateny	ネットワークとスイッチのファイバチャネル廃棄遅延時間を設定します。

show fcflow stats

設定されたファイバチャネルフロー（fcflow）情報を表示するには、**show fcflow stats** コマンドを使用します。

show fcflow stats [**aggregated** | **usage**] [**index flow-index**]

構文の説明

aggregated	(任意) 集約 fcflow 統計情報を設定します。
usage	(任意) フローインデックスの使用状況を表示します。
index flow-index	(任意) fcflow インデックスを指定します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、集約 fcflow の詳細を表示する例を示します。

```
switch# show fcflow stats aggregated
```

次に、fcflow の詳細を表示する例を示します。

```
switch# show fcflow stats
```

次に、fcflow インデックスの使用状況を表示する例を示します。

```
switch# show fcflow stats usage
```

関連コマンド

コマンド	説明
fcflow stats	fcflow 統計情報を設定します。

show fcid-allocation

会社 ID のファイバチャネル地域リストを表示するには、**show fcid allocation** コマンドを使用します。

show fcid-allocation area | company-id-from-wwn *wwn* [*company-id*]

構文の説明

area	会社 ID の自動地域リストを表示します。
company-id-from-wwn <i>wwn</i>	指定された World Wide Name (WWN) から会社 ID を選択します。
<i>company-id</i>	(任意) 表示する会社 ID (組織ユニット ID、または OUI ともいいます) です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、会社 ID のファイバチャネル地域会社リストを表示する例を示します。

```
switch# show fcid-allocation area
Fcid area allocation company id info:
```

```
00:50:2E
00:50:8B
00:60:B0
00:A0:B8
00:E0:69
00:E0:8B
00:32:23 +
```

```
Total company ids: 7
+ - Additional user configured company ids.
* - Explicitly deleted company ids from default list.
```

表 11-2 に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 11-2 show fcid-allocation area company のフィールドの説明

フィールド	説明
+	デフォルトのリストに追加された会社 ID を示します。
-	デフォルトのリストから削除された会社 ID を示します。

関連コマンド

コマンド	説明
fcid-allocation	デフォルトの地域会社 ID リストに FCID を追加します。

show fcns database

検出結果の表示、または指定の Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) あるいはすべての VSAN に対するネーム サーバ データベースの表示を行うには、**show fcns database** コマンドを使用します。

```
show fcns database {detail [vsan vsan-id] | domain domain-id [detail] [vsan vsan-range]
| fcid fcid-id [detail] vsan vsan-range | local [detail] [vsan vsan-range] | vsan vsan-id}
```

構文の説明

detail	各エントリ内のすべてのオブジェクトを表示します。
vsan vsan-id	(任意) 指定された VSAN ID のエントリを表示します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
domain domain-id	ドメインのエントリを表示します。
detail	(任意) ドメインの詳細なエントリを表示します。
fcid fcid-id	指定されたポートのエントリを表示します。
local	ローカル エントリを表示します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

特にファブリックが大規模な場合、または複数のデバイスの応答が遅い場合は、検出が完了するまで数分かかることがあります。

仮想エンクロージャ ポートは、**show fcns database** コマンドを使用して表示できます。

例

次に、FCNS データベースの内容を表示する例を示します。

```
switch# show fcns database
```

次に、FCNS データベースの詳細内容を表示する例を示します。

```
switch# show fcns database detail
```

次に、管理 VSAN (VSAN 2) を表示する例を示します。

```
switch# show fcns database vsan 2
```

次に、設定されているすべての VSAN のデータベースを表示する例を示します。

```
switch# show fcns database
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>fcns</code>	ネーム サーバ コンフィギュレーションに使用するコンフィギュレーションモードコマンドを指定します。

show fcns statistics

指定した Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) またはすべての VSAN の統計情報を表示するには、**show fcns statistics** コマンドを使用します。

```
show fcns statistics [detail] [vsan vsan-id]
```

構文の説明

detail	(任意) 詳細な統計情報を表示します。
vsan vsan-id	(任意) 指定された VSAN ID の統計情報を表示します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、指定された VSAN の統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcns statistics
```

関連コマンド

コマンド	説明
fcns	ネーム サーバ コンフィギュレーションに使用するコンフィギュレーションモードコマンドを指定します。

show fcoe

スイッチ上の Fibre Channel over Ethernet (FCoE) パラメータのステータスを表示するには、**show fcoe** コマンドを表示します。

show fcoe

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、FCoE ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show fcoe
Global FCF details
  FCF-MAC is 00:0d:ec:a3:9d:80
  FC-MAP is 0e:fc:00
  FCF Priority is 128
  FKA Advertisement period for FCF is 8 seconds
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fcoe fcf-priority	FCoE Initialization Protocol (FIP) のプライオリティ値を設定します。
fcoe fcmmap	FCoE ノード (ENode) の関連付けに使用する FCoE MAC Address Prefix (FC MAP) を設定します。
fcoe fka-adv-period	FIP Keep Alive (FKA; FIP キープ アライブ) メッセージが ENode の MAC アドレスに送信される時間間隔を設定します。
show fcoe database	FCoE データベース情報を表示します。

show fcoe-npv issu-impact

中断なしのインサービス ソフトウェア アップグレード (ISSU) 時の Fibre Channel over Ethernet (FCoE) N ポート バーチャライザ (NPV) により生じる設定の問題を表示するには、**show fcoe-npv issu-impact** を使用します。

show fcoe-npv issu-impact

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、**feature fcoe-npv** コマンドを使用して、スイッチ上で Fibre Channel over Ethernet (FCoE) N ポート バーチャライザ (NPV) がイネーブルであることを確認します。このコマンドには、FCoE NPV ライセンスが必要です。

例

次に、FCoE NPV 機能による設定の問題を表示する例を示します。

```
switch# show fcoe-npv issu-impact
show fcoe-npv issu-impact
-----

Please make sure to enable "disable-fka" on all logged in VFCs
Please increase the FKA duration to 60 seconds on FCF

Active VNP ports with no disable-fka set
-----

ISSU downgrade not supported as feature fcoe-npv is enabled
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature fcoe-npv	スイッチの FCoE NPV をイネーブルにします。
show running-config fcoe_mgr	FCoE の実行コンフィギュレーション情報を表示します。
show tech-support fcoe	FCoE のトラブルシューティング情報を表示します。

show fcoe database

Fibre Channel over Ethernet (FCoE) データベースに関する情報を表示するには、**show fcoe database** コマンドを使用します。

show fcoe database

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、FCoE データベースを表示する例を示します。

```
switch# show fcoe database
```

```
-----
INTERFACE          FCID          PORT NAME          MAC ADDRESS
-----
vfc1                0x580016     10:00:00:00:07:f8:0e:45 00:00:00:13:05:01
vfc1                0x580017     10:00:00:00:07:f8:21:bf 00:00:00:13:05:01
vfc2                0x580020     10:00:00:00:07:f8:0e:46 00:00:00:13:05:02
vfc2                0x580033     10:00:00:00:07:f8:21:c0 00:00:00:13:05:02
vfc4                0x58001e     10:00:00:00:07:f8:0e:48 00:00:00:13:05:04
vfc4                0x580031     10:00:00:00:07:f8:21:c2 00:00:00:13:05:04
vfc5                0x58001d     10:00:00:00:07:f8:0e:49 00:00:00:13:05:05
vfc5                0x580030     10:00:00:00:07:f8:21:c3 00:00:00:13:05:05
vfc6                0x58001c     10:00:00:00:07:f8:0e:4a 00:00:00:13:05:06
vfc6                0x58002f     10:00:00:00:07:f8:21:c4 00:00:00:13:05:06
vfc7                0x58001b     10:00:00:00:07:f8:0e:4b 00:00:00:13:05:07
vfc7                0x58002e     10:00:00:00:07:f8:21:c5 00:00:00:13:05:07
vfc8                0x58001a     10:00:00:00:07:f8:0e:4c 00:00:00:13:05:08
vfc8                0x58002d     10:00:00:00:07:f8:21:c6 00:00:00:13:05:08
vfc9                0x580019     10:00:00:00:07:f8:0e:4d 00:00:00:13:05:09
vfc9                0x58002c     10:00:00:00:07:f8:21:c7 00:00:00:13:05:09
vfc10               0x580018     10:00:00:00:07:f8:0e:4e 00:00:00:13:05:0a
vfc10               0x58002a     10:00:00:00:07:f8:21:c8 00:00:00:13:05:0a
vfc11               0x580023     10:00:00:00:07:f8:0e:4f 00:00:00:13:05:0b
vfc11               0x580036     10:00:00:00:07:f8:21:c9 00:00:00:13:05:0b
vfc12               0x580022     10:00:00:00:07:f8:0e:50 00:00:00:13:05:0c
vfc12               0x580035     10:00:00:00:07:f8:21:ca 00:00:00:13:05:0c
vfc13               0x580021     10:00:00:00:07:f8:0e:51 00:00:00:13:05:0d
vfc13               0x580034     10:00:00:00:07:f8:21:cb 00:00:00:13:05:0d
vfc14               0x58002b     10:00:00:00:07:f8:0e:52 00:00:00:13:05:0e
vfc14               0x58003d     10:00:00:00:07:f8:21:cc 00:00:00:13:05:0e
vfc15               0x580029     10:00:00:00:07:f8:0e:53 00:00:00:13:05:0f
vfc15               0x58003c     10:00:00:00:07:f8:21:cd 00:00:00:13:05:0f
-----
```

■ show fcoe database

```

vfc16          0x580028          10:00:00:00:07:f8:0e:54 00:00:00:13:05:10
vfc16          0x58003b          10:00:00:00:07:f8:21:ce 00:00:00:13:05:10
vfc17          0x580027          10:00:00:00:07:f8:0e:55 00:00:00:13:05:11
vfc17          0x580039          10:00:00:00:07:f8:21:cf 00:00:00:13:05:11
vfc18          0x580026          10:00:00:00:07:f8:0e:56 00:00:00:13:05:12
vfc18          0x58003a          10:00:00:00:07:f8:21:d0 00:00:00:13:05:12
vfc19          0x580025          10:00:00:00:07:f8:0e:57 00:00:00:13:05:13
vfc19          0x580038          10:00:00:00:07:f8:21:d1 00:00:00:13:05:13
vfc20          0x580024          10:00:00:00:07:f8:0e:58 00:00:00:13:05:14
switch#

```

関連コマンド

コマンド	説明
fcoe fcf-priority	FCoE Initialization Protocol (FIP) のプライオリティ値を設定します。
fcoe fcmmap	FCoE ノード (ENode) の関連付けに使用する FCoE MAC Address Prefix (FC MAP) を設定します。
fcoe fka-adv-period	FIP Keep Alive (FKA; FIP キープ アライブ) メッセージが ENode の MAC アドレスに送信される時間間隔を設定します。
show fcoe	FCoE CFS パラメータのステータスを表示します。

show fcroute

ファイバチャネルおよび Fabric Shortest Path First (FSPF) の既存の設定に関する特定の情報を表示するには、**show fcroute** コマンドを使用します。

```
show fcroute {distance | label [label] vsan vsan-id | multicast [fc-id vsan vsan-id | vsan
vsan-id] | summary [vsan vsan-id] | unicast [[host] fc-id fc-mask vsan vsan-id | vsan
vsan-id]}
```

構文の説明

distance	FC ルートの優先順位を表示します。
label	ラベル ルートを表示します。
<i>label</i>	(任意) 指定されたラベルのルートを表示します。
vsan <i>vsan-id</i>	(任意) VSAN ID (1 ~ 4093) を指定します。
multicast	FC マルチキャスト ルートを表示します。
<i>fc-id</i>	(任意) ファイバチャネル ID を指定します。
summary	FC ルート概要を表示します。
unicast	FC ユニキャスト ルートを表示します。
<i>host</i>	指定されたホストのユニキャスト ルートを表示します。
<i>fc-mask</i>	マスクで指定された FCID の範囲に一致するホストのユニキャスト ルートを表示します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

コマンド出力にルートの数が表示される場合、ルートの合計数には表示ルートと非表示ルートの両方が含まれています。

例

次に、管理距離を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute distance
```

次に、マルチキャスト ルーティング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute multicast
```

次に、指定された VSAN の FCID 情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute multicast vsan 3
```

次に、指定された VSAN の FCID とインターフェイスの情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute multicast 0xffffffff vsan 2
```

次に、ユニキャスト ルーティング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute unicast
```

次に、指定された VSAN のユニキャスト ルーティング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute unicast vsan 4
```

次に、指定された FCID のユニキャスト ルーティング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute unicast 0x040101 0xffffffff vsan 4
```

次に、ルート データベース情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute summary
```

次に、指定された VSAN のルート データベース情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute summary vsan 4
```

関連コマンド

コマンド	説明
fcroute	ファイバチャネル ルートを設定し、ポリシー ルーティングをアクティブにします。

show fcs

ファブリック設定のステータスを表示するには、**show fcs** コマンドを使用します。

```
show fcs {database [vsan vsan-id] | ie [nwwn wwn | vsan vsan-id] | platform {name string | vsan vsan-id} | port {pwwn wwn | vsan vsan-id} | statistics vsan vsan-id | vsan}
```

構文の説明

database	Frame Check Sequence (FCS; フレーム チェック シーケンス) のローカルデータベースを表示します。
vsan <i>vsan-id</i>	(任意) Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) ID を指定します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
ie	相互接続要素オブジェクトの情報を表示します。
nwwn <i>wwn</i>	(任意) ノード WWN ID を指定します。形式は、 <i>hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh</i> です。
platform	プラットフォーム オブジェクトの情報を表示します。
name <i>string</i>	(任意) プラットフォーム名を指定します。名前は、最大 255 文字まで指定できます。
port	ポート オブジェクト情報を表示します。
pwwn <i>wwn</i>	ポート WWN ID を指定します。形式は、 <i>hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh</i> です。
statistics	FCS パケットの統計情報を表示します。
vsan	すべての VSAN のリストを表示します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、FCS データベース情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcs database
```

次に、特定の VSAN の相互接続要素オブジェクト情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcs ie vsan 1
```

次に、特定の WWN の相互接続要素オブジェクト情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcs ie nwwn 20:01:00:05:30:00:16:df vsan 1
```

次に、プラットフォーム情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcs platform name SamplePlatform vsan 1
```

次に、指定された VSAN 内のプラットフォーム情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcs platform vsan 1
```

次に、指定された VSAN 内の FCS ポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcs port vsan 24
```

次に、指定された WWN 内のポートを表示する例を示します。

```
switch# show fcs port pwn 20:51:00:05:30:00:16:de vsan 24
```

次に、FCS 統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcs statistics
```

関連コマンド

コマンド	説明
fcs	FCS プラットフォーム属性を設定します。

show fcsp

Fibre Channel Security Protocol (FC-SP) 設定のステータスを表示するには、**show fcsp** コマンドを使用します。

```
show fcsp [asciiwwn ascii-wwn | dhchap [database] | interface {fc slot/port | vfc vfc-id}
[statistics | wwn]]
```

構文の説明

asciiwwn <i>ascii-wwn</i>	(任意) Authentication, Authorization, Accounting (AAA; 認証、許可、アカウントリング) サーバで使用する World Wide Name (WWN) の ASCII 表記を表示します。
dhchap	(任意) DHCHAP ハッシュ アルゴリズムのステータスを表示します。
database	(任意) ローカル DHCHAP データベースの内容を表示します。
interface	(任意) ファイバチャネル、またはファイバチャネル インターフェイスの FC-SP 設定を表示します。
fc <i>slot/port</i>	ファイバチャネル インターフェイスを指定します。
vfc <i>vfc-id</i>	(任意) 仮想ファイバチャネル インターフェイスを指定します。
statistics	(任意) 指定されたインターフェイスの統計情報を表示します。
wwn	(任意) 他のデバイスの FC-SP ID を表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、FC インターフェイスの DHCHAP 設定を表示する例を示します。

```
switch# show fcsp interface fc2/3
```

次に、FC インターフェイスの DHCHAP 統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcsp interface fc2/3 statistics
```

次に、指定されたインターフェイスで接続したデバイスの FC-SP WWN を表示する例を示します。

```
switch# show fcsp interface fc 2/1 wwn
```

次に、ローカル スイッチに設定されているハッシュ アルゴリズムと DHCHAP のグループを表示する例を示します。

```
switch# show fcsp dhchap
```

次に、DHCHAP ローカル パスワード データベースを表示する例を示します。

```
switch# show fcsp dhchap database
```

次に、デバイス WWN の ASCII 表記を表示する例を示します。

```
switch# show fcsp asciiwnn 30:11:bb:cc:dd:33:11:22
```

関連コマンド

コマンド	説明
fcsp enable	このスイッチの FC-SP 機能をイネーブルにします。

show fctimer

ファイバチャネル タイマー (fctimer) を表示するには、**show fctimer** コマンドを使用します。

```
show fctimer [d_s_tov [vsan vsan-id] | e_d_tov [vsan vsan-id] | f_s_tov [vsan vsan-id] |
r_a_tov [vsan vsan-id] | last action status | pending | pending-diff | session status |
status | vsan vsan-id]
```

構文の説明

d_s_tov	(任意) 分散サービスのタイムアウト値 (D_S_TOV) をミリ秒で表示します。
vsan vsan-id	(任意) Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) の情報を表示します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
e_d_tov	(任意) エラー検出のタイムアウト値 (E_D_TOV) をミリ秒単位で表示します。
f_s_tov	(任意) ファブリック安定性のタイムアウト値 (F_S_TOV) をミリ秒単位で表示します。
r_a_tov	(任意) リソース割り当てのタイムアウト値 (R_A_TOV) をミリ秒単位で表示します。
last action status	(任意) 最後に実行した Cisco Fabric Service (CFS) 確定または廃棄操作のステータスを表示します。
pending	(任意) 保留中の fctimer コマンドのステータスを表示します。
pending-diff	(任意) 保留中のデータベースと実行中の設定の間における違いを表示します。
session status	(任意) fctimer CFS セッションの状態を表示します。
status	(任意) ファイバチャネル タイマーのステータスを表示します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、設定されているグローバル タイムアウト値 (TOV) を表示する例を示します。

```
switch# show fctimer
```

次に、指定の VSAN に設定された TOV を表示する例を示します。

```
switch# show fctimer vsan 10
```

■ show fctimer

関連コマンド

コマンド	説明
fctimer	fctimer パラメータを設定します。

show fdmi

Fabric-Device Management Interface (FDMI) のデータベース情報を表示するには、**show fdmi** コマンドを使用します。

```
show fdmi database [detail [hba-id {hba-id vsan vsan-id} | vsan vsan-id] | vsan vsan-id] | suppress-updates
```

構文の説明

database	FDMI データベースの内容を表示します。
detail	(任意) 詳細な FDMI 情報を指定します。
hba-id <i>hba-id</i>	(任意) 指定された Host Bus Adapter (HBA; ホスト バス アダプタ) エントリの詳細情報を表示します。
vsan <i>vsan-id</i>	(任意) 指定された Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) の FDMI 情報を指定します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
suppress-updates	アップデートを抑制するように設定された VSAN を表示します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、すべての HBA 管理サーバを表示する例を示します。

```
switch# show fdmi database
```

次に、VSAN1 固有の FDMI 情報を表示する例を示します。

```
switch# show fdmi database detail vsan 1
```

次に、指定された HBA エントリの詳細を表示する例を示します。

```
switch# show fdmi database detail Hba-id 21:01:00:e0:8b:2a:f6:54 vsan 1
```

関連コマンド

コマンド	説明
fdmi suppress-updates	FDMI アップデートを抑制します。

show flogi

すべての Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) を対象としたあらゆるインターフェイスによる全ファブリック ログイン (FLOGI) セッションを表示するには、**show flogi** コマンドを使用します。

```
show flogi {auto-area-list} | database {fcid fcid-id | interface {fc slot/port | vfc vfc-id} | vsan vsan-id}
```

構文の説明

auto-area-list	エリアが割り当てられた Organizational Unit Identifier (OUI; 組織固有識別子) のリストを表示します。
database	FLOGI セッションに関する情報を表示します。
fcid fcid-id	割り当てられた FCID に基づいて FLOGI データベース エントリを表示します。形式は、 <i>0xhhhhhh</i> です。
interface	ログインされたインターフェイスに基づいて FLOGI データベース エントリを表示します。
fc slot/port	仮想ファイバチャネル、または仮想ファイバチャネルインターフェイスをスロットおよびポート番号で指定します。
vfc vfc-id	仮想ファイバチャネルインターフェイスを指定します。
vsan vsan-id	VSAN ID に基づいて FLOGI データベース エントリを表示します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドの出力は、インターフェイス番号別、および VSAN ID 別にソートされます。

ファイバチャネルファブリックでは、ホストまたはディスクごとに FCID が必要になります。ファブリック ログイン (FLOGI) テーブルにストレージデバイスが表示されるどうかを確認するには、次の例のように **show flogi database** コマンドを使用します。必要なデバイスが FLOGI テーブルに表示されていれば、FLOGI が正常に行われます。ホスト HBA および接続ポートに直接接続されているスイッチ上の FLOGI データベースを検査します。

例

次に、FLOGI データベースの詳細を表示する例を示します。

```
switch# show flogi database
```

次に、FLOGI インターフェイスを表示する例を示します。

```
switch# show flogi database interface fc 2/3
```

次に、FLOGI VSAN を表示する例を示します。

```
switch# show flogi database vsan 1
```

次に、特定の FCID に対する FLOGI を表示する例を示します。

```
switch# show flogi database fcid 0xef02e2
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show fcns database</code>	すべてのローカルおよびリモートのネーム サーバ エントリを表示します。

show fspf

グローバル Fibre Shortest Path First (FSPF) ルーティング情報を表示するには、**show fspf** コマンドを使用します。

show fspf [**database** [**vsan** *vsan-id*] [**detail** | **domain** *domain-id* **detail**] | **interface** | **vsan** *vsan-id* **interface** {**fc** *slot/port* | **san-port-channel** *port-channel*}]

構文の説明

database	(任意) FSPF リンク ステート データベースを表示します。
vsan <i>vsan-id</i>	(任意) Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) ID を指定します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
detail	(任意) 詳細な FSPF 情報を表示します。
domain <i>domain-id</i>	(任意) データベースのドメインを指定します。有効な範囲は 0 ~ 255 です。
interface	(任意) FSPF インターフェイスを指定します。
fc <i>slot/port</i>	設定するファイバチャネル インターフェイスを指定します。
san-port-channel <i>port-channel</i>	ポートチャネル インターフェイスを指定します。有効な範囲は 1 ~ 256 です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

パラメータを指定せずに、このコマンドを入力すると、データベース中のすべてのエントリが表示されます。

例

次に、FSPF インターフェイス情報を表示する例を示します。

```
switch# show fspf vsan 1 fc2/1
```

次に、FSPF データベース情報を表示する例を示します。

```
switch# show fspf database vsan 1
```

```
FSPF Link State Database for VSAN 1 Domain 0xc6(198)
LSR Type = 1
Advertising domain ID = 0xc6(198)
LSR Age = 1050
LSR Incarnation number = 0x800007c5
LSR Checksum = 0x35d2
Number of links = 0
NbrDomainId IfIndex NbrIfIndex Link Type Cost
```

```
switch#
```

次のコマンドは、指定された VSAN に対する FSPF 情報を表示する例を示します。

```
switch# show fspf vsan 1
FSPF routing for VSAN 1
FSPF routing administration status is enabled
FSPF routing operational status is UP
It is an intra-domain router
Autonomous region is 0
SPF hold time is 0 msec
MinLsArrival = 1000 msec , MinLsInterval = 2000 msec
Local Domain is 0xc6(198)
Number of LSRs = 1, Total Checksum = 0x000035d2

Protocol constants :
  LS_REFRESH_TIME = 30 minutes (1800 sec)
  MAX_AGE          = 60 minutes (3600 sec)

Statistics counters :
  Number of LSR that reached MaxAge = 0
  Number of SPF computations         = 0
  Number of Checksum Errors          = 0
  Number of Transmitted packets :   LSU 0 LSA 0 Hello 0 Retranmsitted LSU 0
  Number of received packets :     LSU 0 LSA 0 Hello 0 Error packets 0

switch#
```

次のコマンドは、すべてのインターフェイスの FSPF 情報を表示する例を示します。

```
switch# show fspf interface
FSPF interface vfc5 in VSAN 1
FSPF routing administrative state is active
Interface cost is 2100
Timer intervals configured, Hello 20 s, Dead 80 s, Retransmit 5 s
FSPF State is DOWN

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fspf	FSPF を設定します。

show in-order-guarantee

順次配信機能の現在の設定状態を表示するには、**show in-order-guarantee** コマンドを使用します。

show in-order-guarantee

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、順次配信機能の現在の設定状態を表示する例を示します。

```
switch# show in-order-guarantee
```

関連コマンド

コマンド	説明
in-order-guarantee	順次配信をイネーブルにします。

show interface fcoe

インターフェイスの Fibre Channel over Ethernet (FCoE) に関する情報を表示するには、**show interface fcoe** コマンドを使用します。

show interface [*interface number*] **fcoe**

構文の説明

<i>interface</i>	(任意) インターフェイス、イーサネット、または EtherChannel を指定します。
<i>number</i>	インターフェイス番号を指定します。number には、次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> イーサネット インターフェイスのスロット、およびスロット内のポート番号。スロット番号の範囲は 1 ~ 255、ポート番号の範囲は 1 ~ 255 です。 EtherChannel 番号。範囲は 1 ~ 4096 です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、イーサネット インターフェイスに対する FCoE 情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface fcoe
Ethernet1/1 is FCoE UP
Ethernet1/2 is FCoE UP
Ethernet1/3 is FCoE UP
Ethernet1/4 is FCoE UP
Ethernet1/5 is FCoE UP
Ethernet1/6 is FCoE UP
Ethernet1/7 is FCoE UP
Ethernet1/8 is FCoE UP
Ethernet1/9 is FCoE UP
Ethernet1/10 is FCoE UP
Ethernet1/11 is FCoE down
Ethernet1/12 is FCoE down
Ethernet1/13 is FCoE UP
Ethernet1/14 is FCoE UP
Ethernet1/15 is FCoE down
Ethernet1/16 is FCoE down
Ethernet1/17 is FCoE UP
Ethernet1/18 is FCoE down
Ethernet1/19 is FCoE UP
Ethernet1/20 is FCoE UP
Ethernet1/21 is FCoE UP
Ethernet1/22 is FCoE UP
```

show interface fcoe

```
Ethernet1/23 is FCoE UP
Ethernet1/24 is FCoE UP
Ethernet1/25 is FCoE UP
Ethernet1/26 is FCoE UP
Ethernet1/27 is FCoE UP
Ethernet1/28 is FCoE UP
Ethernet1/29 is FCoE UP
Ethernet1/30 is FCoE UP
Ethernet1/31 is FCoE UP
Ethernet1/32 is FCoE UP
Ethernet1/33 is FCoE UP
  vfc1 is Up
    FCID is 0x580016
    PWWN is 10:00:00:00:07:f8:0e:45
    MAC addr is 00:00:00:13:05:01
    FCID is 0x580017
    PWWN is 10:00:00:00:07:f8:21:bf
    MAC addr is 00:00:00:13:05:01
  vfc2 is Up
    FCID is 0x580020
    PWWN is 10:00:00:00:07:f8:0e:46
    MAC addr is 00:00:00:13:05:02
    FCID is 0x580033
    PWWN is 10:00:00:00:07:f8:21:c0
    MAC addr is 00:00:00:13:05:02
  vfc4 is Up
    FCID is 0x58001e
    PWWN is 10:00:00:00:07:f8:0e:48
    MAC addr is 00:00:00:13:05:04
    FCID is 0x580031
    PWWN is 10:00:00:00:07:f8:21:c2
    MAC addr is 00:00:00:13:05:04
  vfc5 is Up
    FCID is 0x58001d
    PWWN is 10:00:00:00:07:f8:0e:49
    MAC addr is 00:00:00:13:05:05
    FCID is 0x580030
    PWWN is 10:00:00:00:07:f8:21:c3
    MAC addr is 00:00:00:13:05:05
  vfc6 is Up
    FCID is 0x58001c
    PWWN is 10:00:00:00:07:f8:0e:4a
    MAC addr is 00:00:00:13:05:06
    FCID is 0x58002f
    PWWN is 10:00:00:00:07:f8:21:c4
    MAC addr is 00:00:00:13:05:06
Ethernet1/34 is FCoE down
Ethernet1/35 is FCoE UP
Ethernet1/36 is FCoE UP
Ethernet1/37 is FCoE down
Ethernet1/38 is FCoE UP
Ethernet1/39 is FCoE down
Ethernet1/40 is FCoE UP
Ethernet3/1 is FCoE down
Ethernet3/2 is FCoE down
Ethernet3/3 is FCoE UP
Ethernet3/4 is FCoE UP
Ethernet3/5 is FCoE UP
Ethernet3/6 is FCoE UP
port-channel1 is FCoE down
port-channel3 is FCoE UP
port-channel5 is FCoE down
port-channel6 is FCoE down
port-channel12 is FCoE down
```

```
port-channel15 is FCoE down
port-channel20 is FCoE down
port-channel24 is FCoE UP
port-channel25 is FCoE UP
port-channel33 is FCoE down
port-channel41 is FCoE down
port-channel44 is FCoE down
port-channel48 is FCoE down
--More--
switch#
```

次に、特定のイーサネット インターフェイスに対する FCoE 情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface ethernet 1/21 fcoe
Ethernet1/21 is FCoE UP
switch#
```

次に、特定の EtherChannel インターフェイスに対する FCoE 情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface port-channel 3 fcoe
port-channel3 is FCoE UP
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fcoe	FCoE CFS パラメータのステータスを表示します。

show interface vfc

仮想ファイバチャネルインターフェイスの設定情報を表示するには、**show interface vfc** コマンドを使用します。

show interface vfc *vfc-id* [**brief**] [**counters**]

構文の説明

vfc-id	仮想ファイバチャネルインターフェイス ID。有効な範囲は 1 ~ 8192 です。
brief	(任意) 仮想ファイバチャネルインターフェイスに関する要約情報を表示します。
counters	(任意) 仮想ファイバチャネルインターフェイス カウンタを表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、指定された仮想ファイバチャネルインターフェイスの設定情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface vfc 1
vfc1 is down (Administratively down)
  Bound MAC is 00:50:3e:8d:64:00
  Hardware is Virtual Fibre Channel
  Port WWN is 20:00:00:05:9b:23:40:7f
  Admin port mode is F, trunk mode is on
  snmp link state traps are enabled
  Port vsan is 1
  1 minute input rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
  1 minute output rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
    0 frames input, 0 bytes
    0 discards, 0 errors
    0 frames output, 0 bytes
    0 discards, 0 errors
  last clearing of "show interface" counters never
```

switch#

次に、指定された仮想ファイバチャネルインターフェイスの要約情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface vfc 5 brief
```

```
-----
Interface  Vsan   Admin  Admin  Status      SFP   Oper  Oper  Port
           Mode   Trunk                                     Mode  Speed  Channel
           Mode                                     (Gbps)
-----
vfc5      1       E      on     down        --    --    --    --
```

```
switch#
```

次に、指定された仮想ファイバチャネルインターフェイスのカウンタを表示する例を示します。

```
switch# show interface vfc 5 counters
vfc5
  5 minute input rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
  5 minute output rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
  0 frames input, 0 bytes
    0 discards, 0 errors, 0 CRC
    0 too long, 0 too short
  0 frames output, 0 bytes
    0 discards, 0 errors
  0 input OLS, 0 LRR, 0 NOS, 0 loop inits
  0 output OLS, 0 LRR, 0 NOS, 0 loop inits
  0 link failures, 0 sync losses, 0 signal losses
  0 BB credit transitions from zero

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
interface vfc	仮想ファイバチャネルインターフェイスを設定します。

show lldp

スイッチ上の Link Layer Discovery Protocol (LLDP; リンク層検出プロトコル) 設定に関する情報を表示するには、**show lldp** コマンドを使用します。

```
show lldp {interface {ethernet slot/port | mgmt intf-no} | neighbors [detail | interface] |
timers | traffic [interface {ethernet slot/port | mgmt intf-no}]}
```

構文の説明

interface	インターフェイスの LLDP インターフェイス情報または LLDP ネイバー情報を表示します。
ethernet slot/port	イーサネット IEEE 802.3z インターフェイスの設定情報を表示します。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
mgmt intf-no	管理インターフェイスのコンフィギュレーション情報を表示します。管理インターフェイス番号は 0 です。
neighbors	LLDP ネイバーに関する情報を表示します。
detail	(任意) LLDP ネイバーに関する詳細情報を表示します。
timers	LLDP タイマーに関する情報を表示します。
traffic	スイッチで設定される LLDP カウンタを表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、LLDP インターフェイス情報を表示する例を示します。

```
switch# show lldp traffic interface ethernet 1/1
LLDP interface traffic statistics:

    Total frames transmitted: 7490
    Total entries aged: 0
    Total frames received: 7458
    Total frames received in error: 0
    Total frames discarded: 0
    Total unrecognized TLVs: 0
switch#
```

次に、LLDP 管理インターフェイス情報を表示する例を示します。

```
switch# show lldp traffic interface mgmt 0
LLDP interface traffic statistics:

    Total frames transmitted: 0
    Total entries aged: 0
    Total frames received: 0
```

```

Total frames received in error: 0
Total frames discarded: 0
Total unrecognized TLVs: 0
switch#

```

次に、スイッチ上で LLDP タイマーを表示する例を示します。

```

switch# show lldp timers
LLDP Timers:

Holdtime in seconds: 120
Reinit-time in seconds: 2
Transmit interval in seconds: 30
switch#

```

次に、LLDP ネイバーの情報を表示する例を示します。

```

switch# show lldp neighbors
Capability codes:
(R) Router, (B) Bridge, (T) Telephone, (C) DOCSIS Cable Device
(W) WLAN Access Point, (P) Repeater, (S) Station, (O) Other
Local Intf Chassis ID Port ID Hold-time Capability
Eth1/1 000d.eca3.6080 Eth1/1 120 B
Eth1/2 000d.eca3.6080 Eth1/2 120 B
Eth1/3 000d.eca3.6080 Eth1/3 120 B
Eth1/4 000d.eca3.6080 Eth1/4 120 B
Eth1/7 000d.ecf2.0880 Eth1/7 120 B
Eth1/8 000d.ecf2.0880 Eth1/8 120 B
Eth1/9 000d.ecf2.0b40 Eth1/9 120 B
Eth1/10 000d.ecf2.0b40 Eth1/10 120 B
switch#

```

次に、指定されたインターフェイスの LLDP 情報を表示する例を示します。

```

switch# show lldp interface ethernet 1/1
Interface Information:
Enable (tx/rx/dcbx): Y/Y/Y Port Mac address: 00:0d:ec:b2:30:c8

Peer's LLDP TLVs:
Type Length Value
----
001 007 04000dec a36080
002 007 05457468 312f31
003 002 0078
004 009 4e354b2d 506f7274 00
005 013 45756765 6e652d4e 354b2d32 00
006 010 4e354b2d 53776974 6368
007 004 00040004
008 012 05010ac1 8303021a 00000000
128 055 001b2102 020a0000 00000001 00000001 06060000 80000808 080a0000
80008906 001b2108 04110000 80000001 00003232 00000000 000002
128 005 00014201 01
128 006 0080c201 0001
000 000
switch#

```

次に、LLDP トラフィックの情報を表示する例を示します。

```

switch# show lldp traffic
LLDP traffic statistics:

Total frames transmitted: 89743
Total entries aged: 0
Total frames received: 59300
Total frames received in error: 0

```

■ show lldp

```
Total frames discarded: 0
Total unrecognized TLVs: 0
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
lldp	スイッチにグローバル LLDP オプションを設定します。
lldp (インターフェイス)	インターフェイスに LLDP 機能を設定します。

show loadbalancing

特定のユニキャストフローのロード バランシング ステータスを表示するには、**show loadbalancing** コマンドを使用します。

show loadbalancing vsan vsan-id source-fcid dest-fcid [exchange-id]

構文の説明

vsan vsan-id	割り当てられた FCID に基づいてファブリック ログイン (FLOGI) データベース エントリを表示します。形式は、0xhhhhhh です。
source-fcid	指定されたソース FCID のロード バランシング ステータスを表示します。形式は、0xhhhhhh です。
dest-fcid	指定された宛先 FCID のロード バランシング ステータスを表示します。形式は、0xhhhhhh です。
exchange-id	(任意) 指定された交換のロード バランシング ステータスを表示します。形式は、0xhhhhhh です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、VSAN 3 で指定されたソース、および宛先に対するロードバランシング情報を表示する例を示します。

```
switch# show loadbalancing vsan 3 0x3345 0x2546
```

関連コマンド

コマンド	説明
vsan	VSAN 情報またはメンバーシップを設定します。

show npv flogi-table

N Port Virtualization (NPV; N ポート仮想化) によるファブリック ログイン (FLOGI) セッションに関する情報を表示するには、**show npv flogi-table** コマンドを使用します。

show npv flogi-table

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

show npv flogi-table コマンドは、スイッチが NPV モードの場合に限り使用できます。

例

次に、NPV FLOGI セッションに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show npv flogi-table
```

関連コマンド

コマンド	説明
show npv status	NPV の現在のステータスを表示します。

show npv status

N Port Virtualization (NPV; N ポート仮想化) に関する現在のステータスを表示するには、**show npv status** コマンドを使用します。

show npv status

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

show npv status コマンドは、スイッチが NPV モードの場合に限り使用できます。

例

次に、NPV の現在のステータスを表示する例を示します。

```
switch# show npv status
```

関連コマンド

コマンド	説明
show npv flogi-table	NPV FLOGI セッションに関する情報を表示します。

show npv traffic-map

N Port Virtualization (NPV; N ポート仮想化) のトラフィック マップを表示するには、**show npv traffic-map** コマンドを使用します。

show npv traffic-map

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

show npv traffic-map コマンドは、スイッチが NPV モードの場合に限り使用できます。

例

次に、NPV の現在のステータスを表示する例を示します。

```
switch# show npv traffic-map
```

関連コマンド

コマンド	説明
show npv flogi-table	NPV FLOGI セッションに関する情報を表示します。

show port index-allocation

ポートインデックスの割り当てに関する情報を表示するには、**show port index-allocation** コマンドを使用します。

show port index-allocation [startup]

構文の説明	startup	(任意) 起動時のポートインデックスの割り当てに関する情報を表示します。
コマンドデフォルト	なし	
コマンドモード	EXEC モード	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン ポートインデックスの最大数が 256 のスイッチでは、この制限を超えるモジュールへの電源は投入されません。Cisco Nexus 5000 シリーズスイッチに対する起動時のモジュールインデックスの配信は行われません。

例 次に、ポートインデックスの割り当て情報を表示する例を示します。

```
switch# show port index-allocation
```

show rlr

Registered Link Incident Report (RLIR) 情報を表示するには、**show rlr** コマンドを使用します。

```
show rlr {erl [vsan vsan-id] | history | recent {interface fc slot/port | portnumber port}
| statistics [vsan vsan-id]}
```

構文の説明

erl	Established Registration List (ERL) を表示します。
vsan vsan-id	(任意) VSAN ID を指定します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
history	リンク インシデント履歴を表示します。
recent	最近のリンク インシデントを表示します。
interface fc slot/port	ファイバチャネルインターフェイスを指定します。
portnumber port	指定されたポート番号の RLIR 情報を表示します。
statistics	すべての VSAN、または指定された VSAN の RLIR 統計情報を表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、VSAN 1 の RLIR 情報を表示する例を示します。

```
switch# show rlr erl vsan 1
```

次に、RLIR 統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show rlr statistics vsan 1
```

関連コマンド

コマンド	説明
rlir preferred-cond fcid	RLIR フレームを受信する優先ホストを指定します。

show rscn

Registered State Change Notification (RSCN) の情報を表示するには、**show rscn** コマンドを使用します。

```
show rscn {event-tov vsan vsan-id | pending vsan vsan-id | pending-diff vsan vsan-id |
scr-table [vsan vsan-id] | session status vsan vsan-id | statistics [vsan vsan-id]}
```

構文の説明

event-tov	イベント タイムアウト値を表示します。
vsan vsan-id	VSAN ID を指定します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
pending	保留中の設定を表示します。
pending-diff	アクティブな設定と保留中の設定の間における違いを表示します。
scr-table	State Change Registration (SCR) テーブルを表示します。
session status	RSCN セッション ステータスを表示します。
statistics	RSCN 統計情報を表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

SCR テーブルを設定できません。このテーブルには、1 つ以上の N ポートが RSCN 情報の登録のために SCR フレームを送信した場合に限り、データが入力されます。**show rscn scr-table** コマンドでエントリが返されない場合、RSCN 情報を受信できる N ポートはありません。

例

次に、RSCN 情報を表示する例を示します。

```
switch# show rscn scr-table vsan 1
```

次に、RSCN 統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show rscn statistics vsan 1
```

次に、VSAN 1 に設定された RSCN イベント タイムアウト値を表示する例を示します。

```
switch# show rscn event-tov vsan 1
```

次に、VSAN 1 でアクティブになっている RSCN 設定と保留中の RSCN 設定の間における違いを表示する例を示します。

```
switch# show rscn pending-diff vsan 1
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>rscn</code>	Registered State Change Notification (RSCN) を設定します。

show running-config fcoe_mgr

Fibre Channel over Ethernet (FCoE) に関する実行コンフィギュレーション情報を表示するには、**show running-config fcoe_mgr** コマンドを使用します。

show running-config fcoe_mgr [all]

構文の説明	all	(任意) デフォルト設定も含めた、すべての動作情報を表示します。
コマンドデフォルト	なし	
コマンドモード	EXEC モード	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(3)N2(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、FCoE の実行コンフィギュレーション情報を表示する例を示します。

```
switch# show running-config fcoe_mgr

!Command: show running-config fcoe_mgr
!Time: Fri Jan  2 06:33:11 2009

version 5.0(3)N2(1)

interface vfc1
  bind mac-address 00:50:3e:8d:64:00
  fcoe fka-adv-period 60
  fcoe veloopback
```

```
switch#
```

次に、実行コンフィギュレーションの詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show running-config fcoe_mgr all

!Command: show running-config fcoe_mgr all
!Time: Fri Jan  2 05:36:52 2009

version 5.0(3)N2(1)
logging level fcoe_mgr 3

interface vfc1
  bind mac-address 00:50:3e:8d:64:00
  fcoe fka-adv-period 60
  fcoe veloopback
```

```
switch#
```

■ show running-config fcoe_mgr

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	スタートアップ コンフィギュレーション ファイルに実行コンフィギュレーション情報をコピーします。
show tech-support fcoe	FCoE のトラブルシューティング情報を表示します。

show san-port-channel

既存の SAN ポート チャネル設定に関する情報を表示するには、**show san-port-channel** コマンドを使用します。

show san-port-channel {compatibility-parameters | consistency [detail] | database [interface san-port-channel *port*] | summary | usage}

構文の説明

compatibility-parameters	互換性パラメータを表示します。
consistency	全モジュールのデータベース整合性情報を表示します。
detail	(任意) 詳細なデータベース整合性情報を表示します。
database	SAN ポート チャネルのデータベース情報を表示します。
interface san-port-channel <i>port</i>	(任意) SAN ポート チャネル番号を指定します。有効な範囲は 1 ~ 256 です。
summary	SAN ポート チャネルの概要を表示します。
usage	SAN ポート チャネル番号の使用状況を表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、SAN ポート チャネルの概要を表示する例を示します。

```
switch# show san-port-channel summary
```

次に、SAN ポート チャネル互換性パラメータを表示する例を示します。

```
switch# show san-port-channel compatibility-parameters
```

次に、SAN ポート チャネル データベースを表示する例を示します。

```
switch# show san-port-channel database
```

次に、SAN ポート チャネル データベースの整合性ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show san-port-channel consistency
```

次に、SAN ポート チャネル データベースの整合性ステータスに関する詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show san-port-channel consistency detail
```

次に、使用および未使用の SAN ポート チャネル番号の詳細を表示する例を示します。

```
switch# show san-port-channel usage
```

関連コマンド

コマンド	説明
san-port-channel persistent	自動作成された SAN ポート チャネルを永続的な SAN ポート チャネルに変換します。

show scsi-target

既存の SCSI ターゲットの設定に関する情報を表示するには、**show scsi-target** コマンドを使用します。

```
show scsi-target {auto-poll | custom-list | devices [vsan vsan-id] [fcid fcid-id] | disk [vsan vsan-id] [fcid fcid-id] | lun [vsan vsan-id] [fcid fcid-id] [os [aix | all | hpux | linux | solaris | windows] | pwwn | status | tape [vsan vsan-id] [fcid fcid-id] | vsan vsan-id}
```

構文の説明

auto-poll	SCSI ターゲットの自動ポーリング情報を表示します。
custom-list	カスタマイズされた検出ターゲットを表示します。
devices	検出された SCSI ターゲット デバイスの情報を表示します。
vsan <i>vsan-id</i>	(任意) Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) ID を指定します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
fcid <i>fcid-id</i>	(任意) 表示する SCSI ターゲットの FCID を指定します。
disk	検出されたディスクの情報を表示します。
lun	検出された SCSI ターゲットの Logical Unit Number (LUN; 論理ユニット番号) を表示します。
os	(任意) 指定されたオペレーティング システムを検出します。
aix	(任意) AIX オペレーティング システムを指定します。
all	(任意) すべてのオペレーティング システムを指定します。
hpux	(任意) HP-UX オペレーティング システムを指定します。
linux	(任意) Linux オペレーティング システムを指定します。
solaris	(任意) Solaris オペレーティング システムを指定します。
windows	(任意) Windows オペレーティング システムを指定します。
pwwn	各オペレーティング システムについて検出された pWWN 情報を表示します。
status	SCSI ターゲット ディスカバリのステータスを表示します。
tape	検出されたテープの情報を表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

オンライン SCSI ターゲットの自動検出を確認するには、**show scsi-target auto-poll** コマンドを使用します。

例

次に、SCSI 検出のステータスを表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target status
```

次に、カスタマイズされた検出ターゲットを表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target custom-list
```

次に、検出されたディスクの情報を表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target disk
```

次に、すべてのオペレーティングシステムについて検出された LUN を表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target lun os all
```

次に、Solaris オペレーティングシステムについて検出された LUN を表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target lun os solaris
```

次に、自動ポーリングの情報を表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target auto-poll
```

次に、各オペレーティングシステム（Windows、AIX、Solaris、Linux、または HPUX）に割り当てられたポート WWN を表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target pwwn
```

関連コマンド

コマンド	説明
scsi-target	SCSI ターゲット ディスカバリを設定します。

show startup-config fcoe_mgr

Fibre Channel over Ethernet (FCoE) に関するスタートアップ コンフィギュレーション情報を表示するには、**show startup-config fcoe_mgr** コマンドを使用します。

show startup-config fcoe_mgr

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N2(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、FCoE のスタートアップ コンフィギュレーションの情報を表示する例を示します。

```
switch# show startup-config fcoe_mgr

!Command: show startup-config fcoe_mgr
!Time: Fri Jan  2 05:41:38 2009
!Startup config saved at: Thu Jan  1 00:04:46 2009

version 5.0(3)N2(1)
logging level fcoe_mgr 3

interface vfc1
  bind mac-address 00:50:3e:8d:64:00
  fcoe fka-adv-period 60
  fcoe veloopback

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	スタートアップ コンフィギュレーション ファイルに実行コンフィギュレーション情報をコピーします。
show tech-support fcoe	FCoE のトラブルシューティング情報を表示します。

show tech-support fcoe

Fibre Channel over Ethernet (FCoE) に関するトラブルシューティング情報を表示するには、**show tech-support fcoe** コマンドを使用します。

show tech-support fcoe

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N2(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、FCoE インターフェイスに関するシスコ テクニカル サポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show tech-support fcoe
***** FCOE MGR tech-support start *****
`show platform software fcoe_mgr event-history errors`
1) Event:E_DEBUG, length:71, at 269945 usecs after Fri Jan  2 06:35:17 2009
   [102] fcoe_mgr_demux(535): (Warning) unexpected mts msg (opcode - 7972)

2) Event:E_DEBUG, length:64, at 269136 usecs after Fri Jan  2 06:35:17 2009
   [102] fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_data(5428): fka-adv-period: 60

3) Event:E_DEBUG, length:64, at 269107 usecs after Fri Jan  2 06:35:17 2009
   [102] fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_data(5427): fcf-priority   : 128

4) Event:E_DEBUG, length:68, at 269076 usecs after Fri Jan  2 06:35:17 2009
   [102] fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_data(5426): fcmap         : 0xefc00

5) Event:E_DEBUG, length:100, at 269036 usecs after Fri Jan  2 06:35:17 2009
   [102] fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_data(5425): fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_da
   ta: Exiting, ret_val = 0

6) Event:E_DEBUG, length:88, at 268788 usecs after Fri Jan  2 06:35:17 2009
   [102] fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_data(5400): fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_data:
   Entering

7) Event:E_DEBUG, length:63, at 567997 usecs after Fri Jan  2 06:30:27 2009
   [102] fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_data(5428): fka-adv-period: 8

8) Event:E_DEBUG, length:64, at 567965 usecs after Fri Jan  2 06:30:27 2009
   [102] fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_data(5427): fcf-priority   : 128
```



```

9) Event:E_DEBUG, length:68, at 567932 usecs after Fri Jan  2 06:30:27 2009
   [102] fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_data(5426): fcmmap          : 0xefc00

10) Event:E_DEBUG, length:100, at 567891 usecs after Fri Jan  2 06:30:27 2009
   [102] fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_data(5425): fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_da
   ta: Exiting, ret_val = 0

11) Event:E_DEBUG, length:88, at 567732 usecs after Fri Jan  2 06:30:27 2009
   [102] fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_data(5400): fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_da
   ta: Entering

12) Event:E_DEBUG, length:88, at 567667 usecs after Fri Jan  2 06:30:27 2009
   [102] fcoe_mgr_cli_set_ve_loopback(1562): Enabling VE loopback (will disable
   VFID check)

13) Event:E_DEBUG, length:129, at 177534 usecs after Fri Jan  2 06:25:17 2009
   [102] fcoe_mgr_mts_vfc_bind_check_resp_handler(2488): Bind Check Resp: if_in
   dex: 0x0, status: (null): success (err_id 0x00000000)

14) Event:E_DEBUG, length:71, at 176687 usecs after Fri Jan  2 06:25:17 2009
   [102] fcoe_mgr_demux(535): (Warning) unexpected mts msg (opcode - 7972)

15) Event:E_DEBUG, length:71, at 392038 usecs after Fri Jan  2 06:16:00 2009
   [102] fcoe_mgr_mac_pool_bmp_to_tlv(143): mac_pool->mac_usage_bmp = NULL

16) Event:E_DEBUG, length:63, at 89603 usecs after Fri Jan  2 06:16:00 2009
   [102] fcoe_mgr_get_eth_fcoe_info(58): sending lls down Eth1/31

17) Event:E_DEBUG, length:63, at 89509 usecs after Fri Jan  2 06:16:00 2009
   [102] fcoe_mgr_get_eth_fcoe_info(58): sending lls down Eth1/29

18) Event:E_DEBUG, length:63, at 89405 usecs after Fri Jan  2 06:16:00 2009
   [102] fcoe_mgr_get_eth_fcoe_info(58): sending lls down Eth1/18

19) Event:E_DEBUG, length:63, at 89310 usecs after Fri Jan  2 06:16:00 2009
   [102] fcoe_mgr_get_eth_fcoe_info(58): sending lls down Eth1/17

20) Event:E_DEBUG, length:63, at 89212 usecs after Fri Jan  2 06:16:00 2009
   [102] fcoe_mgr_get_eth_fcoe_info(58): sending lls down Eth1/15

21) Event:E_DEBUG, length:62, at 89101 usecs after Fri Jan  2 06:16:00 2009
   [102] fcoe_mgr_get_eth_fcoe_info(58): sending lls down Eth1/8

<--Output truncated-->
switch#

```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config fcoe_mgr	FCoE に関する実行コンフィギュレーション情報を表示します。

show topology

接続されている SAN スイッチのトポロジ情報を表示するには、**show topology** コマンドを使用します。

show topology [vsan vsan-id]

構文の説明	vsan vsan-id (任意) VSAN の情報を表示します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
--------------	---

コマンド デフォルト	なし
-------------------	----

コマンド モード	EXEC モード
-----------------	----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例 次に、トポロジの情報を表示する例を示します。

```
switch# show topology
```

関連コマンド	コマンド	説明
	cfs ipv4 mcast-address	IPv4 を介した Cisco Fabric Service (CFS) 配信の IPv4 マルチキャストアドレスを設定します。
	cfs ipv6 distribute	CFS を使用して、アプリケーションの IPv6 を介した CFS 配信をイネーブルにします。
	cfs ipv6 mcast-address	IPv6 を介した CFS 配信の IPv6 マルチキャストアドレスを設定します。

show trunk protocol

トランク プロトコルのステータスを表示するには、**show trunk protocol** コマンドを使用します。

show trunk protocol

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、トランク プロトコルのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show trunk protocol
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
trunk protocol enable	ファイバチャネル インターフェイスのトランキング プロトコルを設定します。

show vlan fcoe

Fibre Channel over Ethernet (FCoE) VLAN と Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) のマッピングに関する情報を表示するには、**show vlan fcoe** コマンドを使用します。

show vlan fcoe

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、スイッチでの FCoE VLAN と VSAN のマッピングを表示する例を示します。

```
switch# show vlan fcoe
VLAN      VSAN      Status
-----
331       331       Operational
332       332       Operational
333       333       Operational
334       334       Operational
335       335       Non-operational
336       336       Operational
337       337       Operational
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fcoe vsan	FCoE VLAN を VSAN にマッピングします。

show vsan

設定された Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) の情報を表示するには、**show vsan** コマンドを使用します。

```
show vsan [vsan-id [membership] | membership [interface {fc slot/port | san-port-channel port | vfc vfc-id}] | usage]
```

構文の説明

vsan-id	(任意) 指定された VSAN ID の情報を表示します。範囲は 1 ~ 4094 です。
membership	(任意) メンバーシップの情報を表示します。
interface	(任意) インターフェイス タイプを指定します。
fc slot/port	ファイバチャネルインターフェイスを指定します。
san-port-channel port	ポートチャネル番号で指定された SAN ポートチャネルインターフェイスを指定します。
vfc vfc-id	仮想ファイバチャネルインターフェイスを指定します。
usage	(任意) システムでの VSAN の使用状況を表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。
4.2(1)N1(1)	VSAN ID に有効な範囲は、4094 に拡張されています。

使用上のガイドライン

show vsan membership interface コマンドを入力すると、この VSAN に設定されているインターフェイスに関するインターフェイス情報が表示されます。

インターフェイスの範囲は昇順にする必要があり、オーバーラップはなしです。ハイフンを使用して範囲を指定することも、カンマを使用して複数のインターフェイスを指定することも可能です。

- ファイバチャネルインターフェイスの範囲の形式は、

fcslot/port - port , fcslot/port , fcslot/port です。

例: **show int fc2/1 - 3 , fc2/4 , fc3/2**

例

次に、設定されている VSAN の情報を表示する例を示します。

```
switch# show vsan 1
vsan 1 information
  name:VSAN0001 state:active
  interoperability mode:default
  loadbalancing:src-id/dst-id/oxid
  operational state:up
```

```
switch#
```

次に、すべての VSAN に対するメンバーシップ情報を表示する例を示します。

```
switch # show vsan membership
vsan 1 interfaces:

vsan 331 interfaces:
    fc2/3          fc2/4          san-port-channel 14 vfc1
    vfc2           vfc3           vfc4             vfc5
    vfc6           vfc7           vfc8             vfc9
    vfc10          vfc11          vfc12            vfc13
    vfc14          vfc15          vfc16            vfc17
    vfc18          vfc19          vfc20

vsan 332 interfaces:
    fc2/5          fc2/6          fc2/7            fc2/8
    san-port-channel 8 san-port-channel 9 vfc21            vfc22
    vfc23          vfc24          vfc25            vfc26
    vfc27          vfc28          vfc29            vfc30
    vfc31          vfc32          vfc33            vfc34
    vfc35          vfc36          vfc37            vfc38
    vfc39          vfc40

vsan 333 interfaces:
fc2/1          fc2/2          san-port-channel 13

vsan 334 interfaces:

vsan 336 interfaces:

vsan 337 interfaces:

vsan 4079(evfp_isolated_vsan) interfaces:

vsan 4094(isolated_vsan) interfaces:

switch#
```

次に、指定されたインターフェイスのメンバーシップ情報を表示する例を示します。

```
switch# show vsan membership interface fc2/1
fc2/1
    vsan:333
    allowed list:1-4078,4080-4093
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
vsan	VSAN を設定します。

show wwn

WWN 設定のステータスを表示するには、**show wwn** コマンドを使用します。

```
show wwn {status [block-id number] | switch | vsan-wwn}
```

構文の説明

status	WWN の使用状況とアラーム ステータスの要約を表示します。
block-id number	(任意) ブロック ID に対する WWN の使用状況とアラーム ステータスを表示します。有効な範囲は 34 ~ 1793 です。
switch	スイッチの WWN を表示します。
vsan-wwn	ユーザが設定した VSAN WWN をすべて表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、スイッチの WWN を表示する例を示します。

```
switch# show wwn switch
```

次に、ユーザ設定の VSAN WWN を表示する例を示します。

```
switch# show wwn vsan-wwn
```

関連コマンド

コマンド	説明
wwn vsan	インターオペラビリティ モード 4 がイネーブルになっている一時停止状態の VSAN に WWN を設定します。

show zone

ゾーン情報を表示するには、**show zone** コマンドを使用します。

```
show zone [active [vsan vsan-id] | analysis {active vsan vsan-id | vsan vsan-id | zoneset
zoneset-name} | ess [vsan vsan-id] | member {fcalias alias-name | fcid fc-id [active |
lun lun-id | vsan vsan-id] | pwwn wwn [active | lun lun-id | vsan vsan-id]} | name string
[active] [pending] [vsan vsan-id] | pending [active] [vsan vsan-id] | pending-diff
[vsan vsan-id] | policy [pending] [vsan vsan-id] | statistics [vsan vsan-id] | status [vsan
vsan-id]]
```

構文の説明

active	(任意) アクティブ ゾーンセットに属するゾーンを表示します。
vsan vsan-id	(任意) 指定された VSAN ID に属するゾーンを表示します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
analysis	(任意) ゾーン データベースの分析を表示します。
active	アクティブ ゾーン データベースの分析を表示します。
vsan	指定された VSAN のゾーン データベースの分析を表示します。
zoneset zoneset-name	指定されたゾーンセットの分析を表示します。
ess	(任意) Exchange Switch Support (ESS) の情報を表示します。
member	(任意) 特定のメンバが属するすべてのゾーンを表示します。
fcalias alias-name	特定の FC エイリアスに対するメンバ情報を表示します。
fc-id fc-id	特定のファイバチャネル ID に対するメンバ情報を表示します。
lun lun-id	論理ユニット ID を表示します。
pwwn wwn	特定の pWWN に対するデバイス名情報を表示します。形式は、 <i>hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh</i> で、 <i>h</i> は 16 進数です。
name string	指定されたゾーンのメンバを表示します。
pending	現在のセッションで指定されたゾーンのメンバを表示します。
pending-diff	ゾーン データベースに対する保留中の変更を表示します。
statistics	ゾーン サーバの統計情報を表示します。
status	ゾーン サーバの現在のステータスを表示します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、設定されているゾーン情報を表示する例を示します。

```
switch# show zone
```


次に、特定の VSAN のゾーン情報を表示する例を示します。

```
switch# show zone vsan 1
```

次に、特定のゾーンのメンバを表示する例を示します。

```
switch# show zone name Zone1
```

次に、FCID を使用してメンバが属するすべてのゾーンを表示する例を示します。

```
switch# show zone member pwn 21:00:00:20:37:9c:48:e5
```

次に、他のスイッチと交換される制御フレームの数を表示する例を示します。

```
switch# show zone statistics
```

次に、設定されたゾーンのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show zone status
```

次に、**zoneset distribute vsan** コマンドのステータスをチェックし、特定の VSAN、またはすべてのアクティブな VSAN のデフォルトのゾーン属性を表示する例を示します。

```
switch# show zone status vsan 1
VSAN:1 default-zone:deny distribute:active only Interop:default
      mode:basic merge-control:allow session:none
      hard-zoning:enabled
Default zone:
      qos:low broadcast:disabled ronly:disabled
Full Zoning Database :
      Zonesets:0 Zones:0 Aliases:0
Active Zoning Database :
      Database Not Available
Status:
```

表 11-3 に **show zone status vsan** で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 11-3 show zone status のフィールドの説明

フィールド	説明
VSAN:	表示される VSAN の番号
default-zone:	デフォルトのゾーン ポリシー (許可または拒否のいずれか)
Default zone:	指定された VSAN の属性を表示するフィールド 属性には、Quality of Service (QoS) レベル、ブロードキャスト ゾーン分割のイネーブル/ディセーブル、および読み取り専用のゾーン分割のイネーブル/ディセーブルが含まれます。
distribute:	フル ゾーン セット (full)、またはアクティブ ゾーン セット (active only) の配信
Interop:	インターオペラビリティ モード。100 = デフォルト、1 = 標準、2 および 3 = シスコ以外のベンダー
mode:	ゾーン分割モード (基本モード、または拡張モードのいずれか)
merge control:	マージ ポリシー (許可、または制限のいずれか)
Hard zoning is enabled	ハードウェア リソース (TCAM) がフルになった場合、ハード ゾーン分割は自動的にディセーブルになります。
Full Zoning Database:	ゾーン データベースの値

表 11-3 show zone status のフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Active Zoning Database:	アクティブゾーンデータベースの値
Status:	最終ゾーン配信のステータス

関連コマンド

コマンド	説明
zone	ゾーン情報を設定します。

show zone analysis

ゾーン分割データベースに関する詳細分析、および統計情報を表示するには、**show zone analysis** コマンドを使用します。

```
show zone analysis {active vsan vsan-id | vsan vsan-id | zoneset name vsan vsan-id}
```

構文の説明

active	アクティブゾーンセットの分析情報を表示します。
vsan vsan-id	指定された VSAN ID の分析情報を表示します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
zoneset name	指定されたゾーンセットに対するゾーンセット分析情報を表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、アクティブゾーン分割データベースの詳細な統計情報と分析を表示する例を示します。

```
switch# show zone analysis active vsan 1
```

次に、フルゾーン分割データベースの詳細な統計情報と分析を表示する例を示します。

```
switch# sh zone analysis vsan 1
Zoning database analysis vsan 1
  Full zoning database
    Last updated at: 14:36:56 UTC Oct 04 2005
    Last updated by: Local [CLI / SNMP / GS / CIM / INTERNAL] or
                    Merge [interface] or
                    Remote [Domain, IP-Address]
                    [Switch name]

    Num zonesets: 1
    Num zones: 1
    Num aliases: 0
    Num attribute groups: 0
    Formatted database size: < 1 Kb / 2000 kb (< 1% usage)

Unassigned zones:
  zone name z1 vsan 1
```

表 11-4 に、フルゾーン分割データベースに対する **show zone analysis** コマンドの出力で表示されるフィールドの説明を示します。

表 11-4 フルゾーン分割データベースに対する **show zone analysis** コマンドのフィールドの説明

フィールド	説明
Last updated at	フルゾーン分割データベースが最後に更新された時刻のタイムスタンプを表示します。
Last Updated by	フルゾーン分割データベースを最後に変更したエージェントを表示します。エージェントには次の 3 種類があります。 <ul style="list-style-type: none"> • Local : 次のいずれかのアプリケーションによる設定変更を通じて、フルデータベースが最後にローカルで変更されたことを示します。 <ul style="list-style-type: none"> – CLI : フルゾーン分割データベースが、ユーザによりコマンドラインインターフェイスを介して変更されました。 – SNMP : フルゾーン分割データベースが、ユーザにより Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) を介して変更されました。 – GS : フルゾーン分割データベースが、Generic Service (GS) クライアント により変更されました。 – CIM : フルゾーン分割データベースが、アプリケーションにより Common Information Model (CIM; 共通情報モデル) を使用して変更されました。 – INTERNAL : フルゾーン分割データベースが、VSAN 間ルーティング (IVR) または IP ストレージ サービス マネージャ から内部クティベーションにより変更されました。 • Merge : フルデータベースがマージプロトコルによって最後に変更されたことを示します。この場合、マージが行われたインターフェイスも表示されます。 • Remote : フルゾーンセットの配信がイネーブルになっている場合、フルデータベースが、リモートスイッチで開始された変更プロトコルによって最後に変更されたことを示します。変更を開始したスイッチのドメイン、IP アドレス、およびスイッチ名も表示されます。 <p>(注) スイッチ名が設定されている場合に限り、スイッチ名は次の行にドメインと並んで表示されます。デフォルトのスイッチ名、<i>switch</i> および <i>ip-address</i> は表示されません。</p>
Num zonesets	データベース中の合計ゾーンセット数を表示します。
Num zones	まだ割り当てられていないゾーンを含め、データベース中の合計ゾーン数を表示します。
Num aliases	まだ割り当てられていないファイバチャネルエイリアスを含め、データベース中の合計エイリアス数を表示します。
Num attribute groups	データベースにある属性グループの合計数を表示します。このフィールドは、拡張ゾーン分割が使用されている場合に限り適用されます。

表 11-4 フル ゾーン分割データベースに対する show zone analysis コマンドのフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Formatted database size	<p>フォーマット時にワイヤ送信されたフル データベースの合計サイズを表示します。</p> <p>フォーマット済みのデータベース サイズが、次の例のようにキロバイト単位で < X KB / Y KB の形式で表示されます。</p> <p>フォーマット済みのデータベース サイズ : < 1 KB/2000 KB</p> <p>この例の場合、フォーマット済みのデータベース サイズは、最大サイズ 2000 KB のうち、1 KB 未満になります。</p>
Unassigned zones	<p>VSAN 内でまだ割り当てられていないゾーンをすべて表示します。ゾーン名だけが表示されます。ゾーンのメンバに関する詳細は、このセクションでは表示されません。</p>

次に、ゾーンセットの分析情報を表示する例を示します。

```
switch# show zone analysis zoneset zsl vsan 1
```

関連コマンド

コマンド	説明
zone compact database	VSAN 内のゾーン データベースを圧縮します。

show zoneset

設定されているゾーンセットを表示するには、**show zoneset** コマンドを使用します。

```
show zoneset [active [vsan vsan-id] | brief [active [vsan vsan-id] | vsan vsan-id] | name
zoneset-name [active [vsan vsan-id] | brief [active [vsan vsan-id] | vsan vsan-id] | vsan
vsan-id] | pending [active [vsan vsan-id] | brief [active [vsan vsan-id] | vsan vsan-id] |
vsan vsan-id] | vsan vsan-id
```

構文の説明

active	(任意) アクティブ ゾーンセットだけを表示します。
vsan vsan-id	(任意) VSAN を表示します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
brief	(任意) ゾーンセット メンバを要約リストで表示します。
name zoneset-name	(任意) 指定されたゾーンセットのメンバを表示します。
pending	(任意) セッション内のゾーンセット メンバを表示します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、設定されているゾーンセットの情報を表示する例を示します。

```
switch# show zoneset vsan 1
```

次に、特定の VSAN について設定されたゾーンセットの情報を表示する例を示します。

```
switch# show zoneset vsan 2-3
```

関連コマンド

コマンド	説明
zoneset (グローバル コ ンフィギュレーション モード)	各ゾーンを 1 つのゾーンセットにグループ化します。
zoneset (EXEC モー ド)	ゾーンセット データベースをマージします。